

藤 野 五 郎
藤岡此式總代理兼專員

本 書 補 入 官 本 平

藤岡總代理兼藤岡大學志願

昭和十一年十月十日

藤岡此式書補入

二百冊附一至二百冊二冊既專補為後二百五十八冊の各冊文の終
り附録二百六冊一至二百冊附録二百廿冊一至二百廿三冊又全冊終
り上附録附録十冊一至第六十二冊全冊終百五十九冊全冊終百六十
と

其の細心質謝の御成り下を謝意の誠心以て専ら専ら専らへ以て終念する所
寧日なき懇謝とて願ふ人欲由暴行強迫の事ありと特許心ありて
圖書の謝意の誠心全巻聖堂山麓圖書社選萬人收生命途絶の懼せら
るゝ此の貴意察當風吹草の懸重なる奉願を以て謝意の公認五大なる

法人 藤岡會 藤岡出張所

法人 協調會 藤岡出張所

冠省

陳者昨夜は御邪魔申上候

擬而御約束に依り早速御返事に參上致す可き所存の處折悪く他に
急要出来御訪問本日中に覺束なく候へば乍失禮書中を以つて左に
御答申上候條不惡御瞭解被下度此般要用のみ御免被下成候也

- 一、組合の本質上個人負債の連帶保証は何等効力なきこと
- 一、組合に責任を取れと強ひることは公式非公式何れたるを問はず
不可能を荷附する所以となり却つて問題を惡質的に擴大する
結果紛争を招來する恐れあること

- 一、小生個人としては素より負債保証の資力等なきこと
- 一、以上の如く既に仲介斡旋を行ふの余地盡きたり候つて本件調
停役は乍遺憾謝絶するの止むなきに至れり 以上

七月十三日

宮 本 平

瀬 戸 康 吉 殿